

報道関係各位

2017年12月11日
ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティア、国内住宅市場向け戦略商品の 新ラインナップ「SmaCIS (Sタイプ)」を発売開始 施工性、意匠性をさらに向上し、屋根の形状に応じた高搭載を実現



ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、本年7月より発売を開始している国内住宅市場向けの戦略商品「SmaCIS」シリーズの新ラインナップとして、「SmaCIS (Sタイプ)」を販売開始します。このたび、高搭載・簡易施工・高意匠を実現するSmaCISコンセプトを、2018年1月から出荷を開始するSFK180-S及びSFK185-Sモジュールにも適用するものです。これまでのRタイプに加え、Sタイプの登場により、屋根の形状に応じて2タイプから選択することが可能となり、屋根の大きさを最大限に活用した高搭載が実現されます。

このモデルでは、施工面では固定金具のプリセット化による事前準備の削減、スレート屋根においては横材のみでモジュールを固定するシンプルな架台の設計、防水に関しては後処理不要の金具及びビスを採用しています。その結果、施工工数を28%、部品点数を55%削減することに成功しました。また、設置基準を見直すことにより、当社従来工法と比較して設置範囲を拡大するとともに、屋根からモジュールまでの仕上げ高さを約30%低減することにより、屋根との一体感を高めて美しい仕上がりを実現しました。

なお、「SmaCIS (Sタイプ)」は、2018年1月5日からの出荷を予定しています。

ソーラーフロンティアは、消費者の電力自給自足への関心の高まりや、政府が進める2020年のZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）標準化政策を受け、国内住宅市場を重要なターゲットと位置づけています。当社は、今後も、実発電量が高く、美しいデザインが特徴のCIS薄膜太陽電池の益々の技術革新を追求し、太陽による快適でクリーンな暮らしをお客様にお届けしてまいります。

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は、昭和シェル石油株式会社（5002, T）の100%子会社で、世界最大級のCIS薄膜太陽電池メーカーです。当社が生産・販売するCIS薄膜太陽電池は、高温や影に強く発電量が多いことや、景観を損なわない美しいデザインが特長です。加えて100%国内生産の品質や20年保証を含む安心のアフターサービスが評価され、大手ハウスメーカー様による新築住宅への採用をはじめ住宅用・産業用など幅広い用途で採用いただいています。当社はCIS技術の特性を生かした価値創造を通じて、太陽による快適でクリーンな暮らしをすべての人にお届けします。企業情報や最新ニュースの詳細は、当社公式の[ホームページ](#)、[コーポレートビデオ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)をご覧ください。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレート管理部 広報チーム
吉田・片倉 TEL: 03-5531-5792